

目次

「臨床薬理」 第43巻 第3号 2012年5月

一般社団法人日本臨床薬理学会理事および監事選挙の件（公示）…………… 53E

特集／精神疾患に対する薬物治療の現状と今後の展開

巻頭言……………	下田 和孝……………	129
1. 新規うつ病治療薬の開発状況……………	中林 哲夫……………	131
2. 新規抗精神病薬の開発状況……………	石郷岡 純……………	139
3. 分子イメージングによる向精神薬の評価……………	大久保善朗……………	147
4. 新規抗精神病薬の身体リスクとその対応……………	須貝 拓朗ほか……………	151

原著

Lack of Contribution of P-Glycoprotein-Mediated Transport to Renal Excretion of Pilsicainide in Humans……………	Tsuyoshi SHIGA, et al……………	157
---	----------------------------	-----

第32回 日本臨床薬理学会年会記録

目次……………	165
シンポジウム 1 レギュラトリーサイエンスの進化を目指して……………	167
シンポジウム 17 機能性食品の臨床薬理学的展開と臨床応用……………	177
シンポジウム 22 早期探索的臨床試験と「承認」に向けた開発戦略……………	187
シンポジウム 23 小児と妊婦の臨床薬理……………	195

議事録

第17回理事会／第5回定時社員総会／第4回総会……………	61E
------------------------------	-----

医薬品情報

医薬品・医療機器等安全性情報 No. 288, 289, 290……………	85E
---------------------------------------	-----

投稿規定……………	91E
-----------	-----

おしらせ

第33回日本臨床薬理学会学術総会予告（3）……………	93E
第15回臨床薬理専門医試験要項，第12回認定薬剤師試験要項，第9回認定CRC試験要項……………	94E
専門医制度委員会からのお知らせ（第14回専門医試験結果，新規研修施設・新規研修関連施設の公表，専門医認定・指導医委嘱・研修施設認定の更新）……………	101E
認定薬剤師制度委員会からのお知らせ（第11回認定薬剤師試験結果，新規指導薬剤師・新規研修施設の公表，認定薬剤師認定・指導薬剤師委嘱の更新）……………	102E
認定CRC制度委員会からのお知らせ（認定CRC更新手続き）……………	103E
2012年度日本臨床薬理学会「臨床薬理研究振興財団賞」の募集……………	105E
日本医学会への加盟申請についての公示……………	108E
CP&T誌の2012年度購読について 他……………	110E

PROCEEDINGS

第 32 回 日本臨床薬理学会年会記録

日時 2011 年 12 月 1 日 (木)~12 月 3 日 (土)

場所 アクトシティ浜松 (浜松)

会長 渡邊 裕司 (浜松医科大学医学部臨床薬理学・臨床薬理内科)

- シンポジウム 1: レギュラトリーサイエンスの進化を目指して**…………… (座長) 中垣俊郎, 高橋希人
 座長のまとめ……………高橋 希人ほか…167
 1. レギュラトリーサイエンスの現状……………豊 島 聡…169
 2. レギュラトリーサイエンスの進歩 —バイオプロダクト—……………野 呂 信 弘…171
 3. レギュラトリーサイエンスと抗がん剤……………山 口 建…173
 4. レギュラトリーサイエンスの進歩: 遺伝子治療……………小 澤 敬 也…175
- シンポジウム 17: 機能性食品の臨床薬理的展開と臨床応用**…………… (座長) 長谷川純一, 山田 浩
 座長のまとめ……………山田 浩ほか…177
 1. ノコギリヤシ果実エキスは排尿障害に有効か, そのエビデンスは……………伊藤 由彦ほか…179
 2. 機能性食品の臨床的エビデンスを探る……………野 元 正 弘…181
 3. 「健康食品と医薬品の相互作用」の問題を回避するための薬学と薬剤師の役割……………澤 田 康 文…183
 4. 健康食品の安全性情報の正しい伝達の為に……………梅 垣 敬 三…185
- シンポジウム 22: 早期探索的臨床試験と「承認」に向けた開発戦略**…………… (座長) 梅村和夫, 栗原千絵子
 1. 早期探索的臨床試験と「承認」に向けた開発戦略: 趣旨説明と今後の展望……………栗 原 千 絵 子…187
 2. 大学附属病院臨床試験施設における早期探索的臨床試験の実施の課題とこれから……………梅 村 和 夫…189
 3. 創薬プロセスへの分子イメージングの応用 —非臨床から臨床への迅速な橋渡し—……………須 原 哲 也…191
 4. Innovative and Exploratory Approaches to First-in-Human Studies :
 Experience with ICH M3 and a Flexible Formulation Strategy……………Lloyd Stevens…193
- シンポジウム 23: 小児と妊婦の臨床薬理**…………… (座長) 伊藤真也, 林 昌洋
 座長のまとめ……………林 昌洋ほか…195
 1. 妊婦の抗リウマチ薬使用とその安全性……………村 島 温 子…197
 2. 抗甲状腺薬の催奇形性: POEM study 中間報告……………荒 田 尚 子…199
 3. 母乳栄養と母親の薬剤使用 —おっぱいやめますか? くすりやめますか?—……………田 中 敏 博…201
 4. 小児の薬物治療と薬理遺伝検査……………坂 口 佐 知…203
 5. 母体カフェイン曝露による新生児カフェイン尿中濃度の検討……………河 田 興 ほか…205